

第6回健康食品機能性表示検討委員会議事録

開催日時：2014年4月2日（水）14時～16時

場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷 3階 翡翠の間

出席者：アピ(株)瀬瀬様、アヴェデス・ジャパン(株)阿部様、イワキ(株)合川様、オルト(株)吉田様、香栄興業(株)佐々木様、(株)光洋商会牛久様、興和(株)小佐々様、三生医薬(株)杉浦様、スターリジャパン蜂屋様、東亜化成(株)諏佐様、(株)トンボ飲料翠田様、フォーデイズ(株)山本様、福田龍(株)有村様

日本栄養評議会：臼杵理事長、廣田理事

委員会担当理事：橋本理事、田中理事、陣野理事、高柿（文責）

議事内容

【理事長挨拶】

食品への機能性表示実現と言う健食業界にとって大きな1年となる。その中で、10年後、20年後まで業界が発展できるように当会として取り組みを行う。最近、大手会社の広告は非常に勉強してきている。大手企業だけでなく中小もルールに従った表示ができるようになることが業界全体の発展につながる。最近は新規参入する企業が減っており、魅力ある業界として再度の活性化を行って行かなければならない時期にある。

【抗加齢学会および産業協議会の取り組み状況報告】

日本栄養評議会では本件の担当を行っている廣田理事より報告と説明が行われた。

抗加齢学会の総会が6月7日、8日で開催され、健康食品に関するテーマも各医学領域で3素材を取り上げる予定である。そのための新たな資料提出要望がある。資料は産業協議会に提出し、選考を行う。選ばれたものはパネルディスカッションで発表を行う。

当初は人の試験以外は認めないとの発言であったが、最近は少し論調に変化がある。消費者庁の検討結果を見ながら、人以外の試験データについても検討の余地を残す可能性もある。

その後、田中理事の進行により抗加齢学会の新たな資料提供に協力できるか各委員の意見交換が行われた。

その結果、産業協議会の提出フォームに問題があるのではないかと結論となり、新フォームの検討を4月14日までにすることとなった。

CRNの機能性表示案について各項目の議論を行い、追加項目は無いが、項目の内容については検討案を事務局で再度示すこととなった。

【第7回委員会の開催】

- ・第7回は4月22日に開催する。

以上